

第21回 市民動物園会議

会 議 録

日 時：平成26年6月30日（月）午後1時開会
場 所：円山動物園内 動物園プラザ

1. 開 会

○事務局（田中円山動物園長） 皆さん、ご苦労さまでございます。

私は、4月1日に新たに円山動物園の園長になりました田中と申します。

今日は、お忙しい中にお集まりいただきまして、どうもありがとうございます。

ただいまから、第21回の市民動物園会議を開催させていただきます。

2. 挨拶

○事務局（田中円山動物園長） 開会に先立ちまして、今井みどり環境担当局長よりご挨拶を申し上げます。

○今井みどり環境担当局長 みどり環境担当局長の今井です。

本日は、ご多用のところ、市民動物園会議に出席いただきまして、どうもありがとうございます。

新聞等で既に報道されているのですが、昨年度の動物園の入園者は95万9,431名ということで、目標の100万人にあと一步と大変惜しい結果でございました。そうは言うものの、近年にない入園者があり、今年こそはぜひ、ということで、動物園職員をはじめ、一丸となってスタートしました。

後ほど報告もごさいすけれども、今年の連休は昨年度と比較しますと、出だしがいいぞということでスタートいたしました。ただ、6月に入りまして、雨降りの日がかかなり続いたこともあり、昨年との比較では、やや頑張らなければならない状況になってございます。

我々職員をはじめ、一丸となって魅力ある動物園を積極的にPRしていきたいと思っております。市民会議の皆さん方には、さまざまな機会に動物園のPRを、また、いろいろな機会に知人の方に「動物園はいいよ」とお声がけしていただければと思っております。

本日の市民動物園会議におきましても、忌憚のない意見やアイデアをお聞かせいただきたいと思っております。いただいた意見をもとに、より魅力のある動物園を目指し、いろいろな事業や施策に取り入れていきたいと思っております。

簡単でございすけれども、私からの挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

3. 自己紹介

○事務局（田中円山動物園長） はじめての委員もいらっしゃると思いますので、改めて事務局の自己紹介をさせていただきます。

私は、今申し上げましたとおり、4月に動物園園長になりました田中と申します。

全くの素人でございまして、皆さまのご意見を頂戴しながら、よりよい動物園をつくっていききたいと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

○事務局（木村経営管理課長） 経営管理課長の木村でございます。どうぞよろしくお願

いたします。

○事務局（柴田飼育展示課長） 飼育展示課長の柴田でございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

○事務局（吉田経営管係長） 経営管係長の吉田と申します。この春から着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（池田調整担当係長） 調整担当係長の池田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（田中円山動物園長） それでは、議事に入ります。

以降の進行につきましては、金子議長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

4. 議 事

○金子議長 皆さん、改めまして、よろしくお願いいたします。

今日も時間が限られておりますので、早速、議事に入っていきたいと思っております。

まず最初は、平成25年度の運営状況について、事務局からお願いいたします。

○事務局（木村経営管理課長） 経営管理課の木村でございます。

私からご説明させていただきます。

右肩に資料1-1と打っている来園者の状況について、ご説明を申し上げたいと思っております。

表とグラフがいくつかございますが、一番左上の表をご覧いただきたいと思っております。

平成25年度につきましては、先ほど今井局長からもお話がございましたが、最終的な来園者数は95万9,431人でした。右に目を移していただきますと、24年度が74万8,321人でしたので、比べまして約11万人の増、率にしますと28.2%の増でございます。残念ながら、100万人の大台には、あと一歩及びませんでしたけれども、ここ20年では最も多くの来園者数でございました。

次に、月別の状況です。

前回までの会議でも途中でいろいろとお話は申し上げましたが、改めて説明させていただきます。

前年12月のわくわくアジアゾーンのオープンがあり、また、ホッキョクグマの双子の展示が平成25年3月から行われたこともございまして、4月のはじめから来園者数を順調に伸ばしたところでございますが、ゴールデンウィークに入りましてから、悪天候にたたられまして、4月が終わった時点で前年度比約3.5%の増にとどまりました。

5月の連休期間中も雨と低温にたたられまして、ここ数年で最も来園者数が少ない結果となりました。しかしながら、連休が終わりましてからは、天候に恵まれたこともあり、持ち直しまして、5月の入園者数につきましては、前年度と比べて48%以上の増となっております。

6月もこのよい流れが続きまして、また、天候にも恵まれたことから、11万7,092人となりまして、6月としては、ここ10年間で最も多い来園者数でございました。

7月は、6月と比べますと、天候にやや恵まれなかったことから、前年度に比べまして26%の増でありました。

8月の後半は、天候に恵まれない日が多かったこともありましたが、前年度比で28%の増でございました。8月の来園者数の15万2,823人は、ここ10年間で最高の入り込みとなっております。

7月から8月にかけては、夜の動物園が大変好評でございまして、夜間延長時の入園者数は、1日平均で4,833人であり、昨年、夜間延長を実施したときと比べまして27%増えております。

9月も12万151人と、前年度を40%以上上回る増となっております。9月22日には、新しい試みとして、夜の動物園を秋の連休期間に実施しましたが、この日は1万4,068人となりました。9月では1万人を超えることは珍しいのですけれども、多くの方が来園されておりました。

10月は、前年度と比較して24%の伸びにとどまっておりますけれども、10月も円山動物園の基本構想を策定してからは、最も多い来園者数となっております。

11月に入りますと、例年、気温の低下とともに、来園者の数は大きく減ってしまう傾向がございますけれども、これまでのペースを超える順調な伸びでございまして、大変多くのお客様にご来園をいただきました。前の年が少なかったのもあるのですけれども、90%近い増という形になっております。この数字もここ10年間では最も多い来園者数でございます。

12月から3月の来園者数でございますが、平成24年度につきましても、わくわくアジアゾーンのオープンもあり、平成23年度と比べまして、トータルで8割以上伸びておりますが、1月を除いて、各月でさらに約10%増えている状況でございました。

12月22日には、クリスマス前に夜の動物園を新たな企画として実施いたしました。この日は朝から大変な雪だったのですけれども、2,000人を超える来園者の方がいらっしゃいました。

1月は、昨年に引き続きまして、正月三が日を無料といたしまして、縁起物の配布を行いましたところ、大変盛況でございました。しかしながら、後半は天候に恵まれなかったこともございまして、前年度と比べると14%の減となっております。

2月は、雪まつり期間中のスノーフェスティバルなどのイベントにつきまして、前年度と比較し、一層の充実を図る取り組みを進めましたところ、前年度比9%の増となりました。

3月は、初めての試みといたしまして、高校生以上の学生を無料といたしまして、その結果、多くの若者に来ていただきました。パスポートキャンペーンなどの効果から、そのほかの有料のお客様にも多く来ていただくことができまして、4万5,640人でござい

ました。これも基本構想策定以降、最も多い来園者数となっております。

100万人の大台には、あと一步及びませんでしたけれども、約96万人まで来園者数が伸びた要因といたしましては、わくわくアジアゾーンがオープンしたこと、また、ホッキョクグマの双子のポロロとマルルの効果に加えまして、ペンギンガイドなど約40種類あるドキドキ体験や夜の動物園の内容を一層充実させたこと、パスポートキャンペーンを初めとした積極的な集客策のほか、積極的に広報活動を行った成果が考えられます。

次に、1枚めくっていただき、資料1-2の経理状況について、ご説明いたします。

円山動物園の基本構想などにおきましては、持続可能な経営の考え方として、上の表にご覧いただけます入園料などの歳入と上から2番目の表の人件費や施設整備費を除いた経費を経常経費と呼んでおりますが、この二つの収支の均衡を図ることを最終的な目標としておりますことから、こちらの資料のような表立てで比較をさせていただいております。

まず、歳入でございます。

表の一番右に平成25年度の決算見込みがございます。ほぼ確定でございますけれども、決算の認定がされていないので、見込みとなっております。入園料は2億5,200万円余と、24年度に比べまして、額にして約6,000万円、率にしますと、31%の増となっております。来園者増に伴い、入園料も伸びております。歳入を合計しますと、3億円余であり、前年度に比べまして約28%の増でございます。

次に、支出の経常的な経費でございます。

上下水道、重油・灯油代等、また、電気・プロパン代等の光熱水費につきましては、節約に努めたところでございますけれども、電気代の単価の上昇などがございまして、これらの経費については昨年より若干増加しております。一方、維持管理・委託費は、約200万円の増となっております。これは、人件費等の増に伴いまして、業務委託をする際の委託料が増加したことなどが主な要因となっていると考えております。このほか、集客増のためのイベントや広報活動を積極的に行ったことから、これらの経費についても300万円ほど増加しております。経常経費の合計につきましては、4億500万円余であり、前年度と比べて微増となっております。

その下の表は、歳入から経常経費を差し引いた額を記載しておりまして、最終的にはこの額をゼロに、あるいは、黒字にすることが動物園の究極の目標でございます。平成25年度につきましては、1億400万円余のマイナスであり、24年度に比べまして約38%は収支差を縮小できた状況でございますが、1億円以上の乖離がまだあります。

今後につきましては、入園者数の増は当然でございますけれども、広告・寄附につながるような積極的な営業を行いながら、歳入の増加を図るとともに、また、支出面につきましても、消費税率のアップや昨今の資材や人件費の上昇等、厳しい状況にはございますけれども、経費の圧縮をできるだけ図りまして、最終的に、動物園の基本計画の最終年度でございます、平成28年度には収支が均衡するように目指して取り組んでまいりたいと考えております。

次に、もう1枚めくっていただきまして、資料1-3でございます。両面になっているもので、平成25年度の主な行事でございます。

新たに実施した行事につきましては、黒丸をつけております。そのほかにつきましては、前年度も行っていた行事を継続しているものでございますが、工夫や改善を加えながら個々の行事の魅力を高めて実施するよう努めてきました。

駆け足でございましたけれども、平成25年度の運営状況の説明につきましては、以上でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○金子議長 ありがとうございます。

今ご説明いただいたことに関して、まずは来園者状況について、ご質疑をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

○小山委員 平成21年度がそれまでは一番多かったのですか。

○事務局（木村経営管理課長） ここ数年であれば平成21年度が多かったのですが、平成3年に九十何万人という年があつて、その数字までにはいきませんでした。

○小山委員 平成21年度より25年度は上回ったのですね。

○事務局（木村経営管理課長） 平成21年が91万人ぐらいでございましたので、それよりも増えております。

○小山委員 ちなみに、平成21年度は入園料が2億7,000万円と多かったですね。

○事務局（木村経営管理課長） 平成21年度の入園者数は、92万3,503人でした。今、小山委員がおっしゃられたように、22年度のほうが入園者数は少なかったのですが、入園料収入が多くなっています。この理由は、いくつかあるのですけれども、最も大きな要因としては、パスポートを使って入園されている方がこのときに比べてかなり増えております。

パスポートの平均的な入園料は、パスポートの利用者数をパスポートの売り上げで単純に割り返した金額ですけれども、単価が年々下がっています。つまり、いらっしゃる回数が増えているのですが、平成25年度は24年度よりもさらに増えている状況でございます。22年度以降、パスポートの広報を積極的にしておりまして、それが大きく影響しているのかと判断しているところでございます。

○河原委員 パスポートの効果で来園数も増えているということですが、今年はウィズユーザーカードの販売が中止になりましたね。私は「ウィズユーザーカード」を買うのを毎年楽しみにしていたのですけれども、今後は来園者数に多少影響してくるのかと思ったのですが、いかがですか。

○事務局（木村経営管理課長） ウィズユーザーカードとセットにしているものが昨年まではあり、結構お得なものでございましたし、楽しみにされている方もいらっしゃったのですけれども、ご承知のように、ウィズユーザーカードの販売を札幌市でやめたものですから、昨年度の途中から販売されなくなりました。

新たな取り組み等についてはこれから考えて、もうちょっと魅力のあるものがあれば展開していきたいと思っていますところでございます。

○事務局（田中円山動物園長） 公共交通の促進という意味で、地下鉄をなるべくご利用いただくため、SAPICAをご提示いただくと、何かしらの特典をつけることを最近では積極的にやっております。

○高山委員 冬の対策がどうしても必要になってくると思います。この数字を見ましても、1月、3月が非常に厳しいという状況だと思うのです。その中でも、平成23年度と24年度対比で、1月、3月がどんと増えています。これはどういう要因だったのですか。

○事務局（木村経営管理課長） 平成23年度から24年度でございますか。24年12月12日にわくわくアジアゾーンという獣舎がオープンして、その関係で12月の後半以降にかなり多くのお客様にお出でいただいています。あわせて、3月22日でしたか、ホッキョクグマの双子を公開したこともあって、前の年と比べると倍ぐらいのお客さんが入っております。

○金子議長 ほかによろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子議長 それでは、次のページの経理状況について、ご議論いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○成田委員 経理状況の歳入の公園使用料とありますが、これは何なのでしょう。

○事務局（木村経営管理課長） 園内に設置している売店や食堂の使用料でございます。今、園内にはセブン-イレブンや昔からの食堂があるのですが、1平方メートル当たりいくらかということが札幌市の条例に沿って決まっている金額であって、それを面積割りで請求させていただきます。それが大体1,000万円強となります。

ちなみに、若干減っているのは、平成25年10月をもってアフリカゾーンの工事の関係で食堂が1軒廃止になったので、24年度からは少し落ちております。したがって、26年度は公園使用料の収入について、売店、食堂の部分では少なくなります。

また、臨時的に動物園の敷地を使って何かの事業を短期的にする場合でも金額をいただきますので、その金額が公園使用料となります。

○矢橋委員 ということは、平米単価での収入になるということで、どれだけ売り上げが上がっても、動物園側にそんなにいいお金が入ってくるわけではないのですか。

○事務局（木村経営管理課長） 例えば、契約等で商品の売り上げに応じて一定割合をいただくという取り決めをしているものについては、一つ上の寄附金に入ります。

○矢橋委員 今日、お昼前に向かいでパンケーキを食べたのです。その支払い分は、シロクマのイラストの使用料ということで、少し収入になるのですか。

○事務局（木村経営管理課長） それとその関係の売り上げのいくらかをご寄附いただくことになると思います。

○金子議長 ほかによろしいでしょうか。

私からお聞きしたいのですけれども、寄附金はどう処理されるのですか。

○事務局（木村経営管理課長） 寄附の申し出をいただきましたら、一般的にはこちらでその金額の調整をして、お支払いいただきます。

例えば、先ほどお話がありましたように、ホッキョクグマのピリカの関係の寄附でありましたら、企業と売上げの何%をいただくという協定を結ばせていただきましたら、売上げの報告をいただき、我々でその金額分の寄附をお願いする書類をお送りして、お支払いいただくことになります。

○金子議長 それは、動物園に直接入るのですか。

○事務局（木村経営管理課長） ここに書いてあるのは動物園に入ります。ただ、動物園の収入ではなくて、札幌市の収入になります。

しかしながら、財政当局では、動物園の事務事業の支出に使うことをまずは基本にしていただいております。もともと全部のお金が賄えている状況ではないのですけれども、この金額は動物園の支出に当てられるものだという認識はされております。ただ、動物園直接の収入ではなくて、札幌市に対する収入となります。

○金子議長 税制上の優遇みたいなものはあるのですか。

○事務局（木村経営管理課長） 地方公共団体に対する寄附ですので、企業等では税法上の扱いで処理されていると思います。

例えば、一般の方に現金をお持ちいただき、寄附をいただくことがございますけれども、それも同様に処理をいたします。ただ、一定程度の条件が合えば、所得税法上の対象にはなるはずですが、しかし、個人の方からのそういうご依頼は、今のところ多くない状況でございます。

○矢橋委員 アニマルファミリーのときの収入は寄附になるのですか。

○事務局（木村経営管理課長） アニマルファミリーの会費につきましては、札幌市に対する寄附として対応しておりますので、寄附金の中に入ってきます。

○高山委員 2番目の経常経費の欄で上下水道料が減っており、かなりご努力されていらしてきたのではないかと思うのですけれども、3段目の電気・プロパン代、特に電気代です。北電がああいう状況で、さらに値上げしていくようなことが予想されますけれども、手前どものテレビ塔なんかも室内照明は、ほとんどLED化してきていまして、電気代が1割から2割ぐらい下がっているのです。10年たたないでもとがとれるのではないかと思っておりますけれども、動物園の場合、LED化はどんな状況ですか。

○事務局（木村経営管理課長） LED化についてはあまり進んでおりません。その時点での投資が若干必要ですが、今、高山委員がおっしゃられましたように、進めていかなければいけないと考えております。

例えば、年度末に予算に多少余力ができた場合は、大がかりではないですけれども、これまでもLEDに変更してきているところでございます。今後は、設備投資が多少かかりますけれども、積極的に進めていく必要があるかなと思っております。設備系で更新が必

要な時期も結構あるものですから、それに合わせてやっていかなければいけないとは考えているところでございます。

○高山委員 LEDの電球の球はかなり安くなってきています。一方、北電は再度値上げとなる状況でしょうから、積極的にやられた方がいいのではないかと思います。

○金子議長 電気は北電ですか。

○事務局（木村経営管理課長） はい。

○金子議長 最近、別な会社はかなり安いみたいで、私のいる大学もそんな話があるようです。やっぱり、市としては北電と決まってしまうのでしょうか。

○事務局（田中円山動物園長） そんなことはないと思います。かなり大口になりますので、いろいろ難しい問題はあるのだらうと思いますが、市場調査をしながら、可能なものについては導入していくというスタンスで、全庁的にもそうですし、私どもでも検討してまいりたいと思っております。

○金子議長 ほかにいかがでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子議長 続いて、行事についてです。

例えば、夜の動物園の回数も前年と同じで、これからもずっと同じですか。

○事務局（木村経営管理課長） 基本的には、夏場については同じです。

ただ、去年につきましては、12月下旬に冬の夜の動物園を行いました。そういうことは新しい試みとしてやっております。

○金子議長 それをやると入園者に直結するのですか。

○事務局（木村経営管理課長） 先ほども少しお話ししましたが、12月22日は吹雪でした。そういう日ですと、仮に土・日であっても1,000人を切ることが多いのですけれども、2,000人を超えるお客様の入園があったということから、こういうイベントの効果があったとは考えています。冬場なので、どうしても夏場と比べるとあまり大きくはないのですけれども、効果はあったと考えております。

○矢橋委員 私は、12月22日に来園して、サッポロ・シティ・ジャズのコンサートの演奏を聞きました。これはサッポロ・シティ・ジャズの一環ではなく、夜の動物園のイベントだったのですか。

○事務局（池田調整担当係長） 夜の動物園のイベントの枠組みの中の一つとして展開しております。

○金子議長 ありがとうございます。

次へ移ってよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

○金子議長 続きまして、平成26年度予算等について、説明をお願いいたします。

○事務局（木村経営管理課長） それでは、平成26年度の予算等につきましてご説明を申し上げたいと思います。

もう一つめくっていただきまして、資料2-1と右上に打っているものでございます。
まず、予算について、ご説明いたします。

歳入予算は、入園者数100万人として入園料を計上しております。入園料収入は2億8,300万円余で、それ以外の収入も合わせました合計では、昨年度より約3,500万円多い3億2,000万円余を見込んでおります。これは、入園料の増加分がほぼ歳入全体の増加分と考えております。先ほど、局長からお話がありましたけれども、現状は厳しいものがございますけれども、これから努力してまいりたいと考えております。

次に、歳出でございます。

大きく二つに予算が分かれておりまして、動物園運営管理費は動物園の一般的な管理経費でございます。大体5億440万円を平成26年度に計上しております。

このうちの小さい項目ですが、動物園経営費の下の教育普及事業費は、環境教育の場として動物園を有効に利用していただくための事業費でございます。

一つ飛びまして、大型動物の導入検討調査費は、アジアゾウの導入に関する調査費でございます。

その下に、野生動物復元事業費がございます。これは、北海道に生息しております希少な猛禽類等の動物の保護と復元、繁殖に係る調査研究を行う事業費でございます。

戻りますけれども、壁面アート等事業費です。これは、今年度の札幌国際芸術祭関連の事業として実施を予定しているものでございまして、アフリカゾーンの工事現場の仮囲いを活用した壁面アート展です。また、一部の車両が、もう既に運行しておりますけれども、路線バスの車両に動物の写真やイラストなどをラッピングする広告です。これらを平成26年度の事業として行います。

そのほかは、動物園経営費となります。

先ほどの平成25年度の決算の関係で、歳入、歳出とその差についてのご説明を申し上げましたけれども、同じように、施設整備費と人件費を除いた経常経費の状況について、参考として一番下に欄を示しております。昨年度の予算と比べまして800万円ほどの増を見込んでいるところでございます。

この増の内訳は、消費税の増加分がほとんどでございます。予算を組む段階で消費税が5%から8%に増税されることを踏まえ、それぞれ見積もりをしておりますが、その結果として、これだけの増となっております。

もう一つの動物園の経費として、動物園整備費がございます。

こちらは、文字どおり、施設や設備の整備にかかわる経費でございまして、今年度は15億8,000万円余の予算を計上しております。昨年が4億円弱でしたから、大きく増えていますけれども、昨年から工事しておりますアフリカゾーンの建設の支払いの大半が今年度になるものですから、それが要因となります。

動物園の予算全体は、20億8,700万円余となります。

平成26年度の予算の概要につきましては、以上でございます。

続きまして、次のページの資料 2-2 の平成 26 年度の主な行事でございます。

新規事業につきましては、同様に黒丸で示しております。平成 25 年度に実施したもののについては黒丸を外してしまして、26 年度に新たに行うプログラムについて黒丸で示しているところがございます。

これは両面になっておりますけれども、下半期は新規事業がまだ確定していないものがございますので、記載されておられません。今後、新しい事業を企画していくことになろうと思います。

一年を通しまして、平成 25 年度の行事をベースに組んでおりますけれども、25 年度に行った事業につきましても、効果が余りよくなったもの等はスクラップするなどして、既存事業に工夫や改善を加えながら個々の行事の魅力を高めまして、来園者の増につなげてまいりたいと考えております。

平成 26 年度の予算の関係と主な行事等につきましては、簡単ですが、以上でございます。

○金子議長 ありがとうございます。

まずは、平成 26 年度の予算についてご審議いただければと思います。

いかがでしょうか。

○矢橋委員 歳出の壁面アートの事業費ですが、これは従来のスネークアート展のようなものとは、また別と考えなければいけないのですね。

○事務局（木村経営管理課長） 今年もスネークアート展は予定しておりますけれども、その予算ではありません。先ほどもご説明しましたように、アフリカゾーンの仮囲いがあり、せっかくだから、そこに絵の作品をつくっていただきます。その他、ジェイ・アール北海道バスにラッピングする関係の経費です。基本的には単年度限りの予算として 840 万円が今年についております。

○事務局（田中円山動物園長） 今年の札幌国際芸術祭のタイアップ事業と申しますか、円山動物園でも芸術祭絡みで事業に取り組もうということで、アートっぽいことをやってみようということです。

○矢橋委員 なかなか金額ですし、札幌国際芸術祭自体でも結構な予算をとってやっていらっしゃいますね。ですから、芸術祭からやらせてくださいというアプローチがあって、動物園としては、仕方がないのでやらせてあげよう、囲いにでも書きますかというぐらいのやりとりがあったら、もっと経費削減できたのにな、と思いました。

○事務局（田中円山動物園長） 基本的には、芸術祭は芸術祭で、その他の部局がタイアップするものについては、それぞれで予算立てをしてやっています。これは私どもだけに限らず、さまざまな部局で芸術祭関係の予算が計上されていますので、効率的な執行もあるのでしょうけれども、それぞれのところで費用化しているとご理解いただければと思います。

○金子議長 これはどういう方がつくられるのですか。

○事務局（池田調整担当係長） 基本的には、札幌国際芸術祭は都市と自然の融合という位置づけになっていまして、今回は、円山動物園にお越しいただいた方が撮影された写真のフォトコンテストを実施して、そのフォトコンテストに出展された動物の写真60点、また、来園された方同士で似顔絵を描き合うワークショップをやっています、このワークショップに参加された方々の作品40点の合わせて100点を150メートルぐらいの範囲で壁に拡大掲出として展覧するという中身になっております。

○金子議長 予算は何に使うものですか。

○事務局（池田調整担当係長） これは、拡大して掲出するためのラッピングの費用がほとんどです。これがおよそ400枚ぐらいです。そのほかに、ラッピングバスについては一般公募で、プランを問わず、バスに掲出するデザイン案を公募しまして、これをバスに貼り付けて、広告料としておよそ200万円かかります。

そのほかに、広告費、あるいは、ワークショップの事前準備費などがもろもろと加わって、840万円となります。

○高山委員 形式的なのかもわからないですけども、平成26年度の予算については25年度の予算と26年度の予算と比較をなさっていらっしゃるのですね。しかし、僕ら民間ですと、25年度の実績と26年度の予算という表記の仕方をするのですけれども、お役所のものだからということでしょうか。前々からこういう形なのですか。

○事務局（田中円山動物園長） 一言で申し上げますと、まさしく公会計の仕組みというか、予算主義みたいなところがございますので、予算を重視しています。

ただ、もちろん、翌年度の予算を組むときには決算見込みなんかを見ながらやっていますので、積算のときには当然考慮するのですが、ご説明するときには予算同士を比べるという説明をよく使わせていただいております。

○高山委員 できたら、実績対比も参考か何かで右側にでもあれば、わかりやすいような気がします。

○河原委員 消費税がアップしたことで、800万円ぐらい予算が増えたとお聞きいたしました。民間でしたら、その分の穴埋めで入園料が少し高くなりますが、円山動物園はどのように考えていらっしゃいますか。

○事務局（田中円山動物園長） まずは、札幌市役所でいう使用料・手数料という部類になりまして、基本的には条例で定めたものになります。

これも全庁的な取り扱いですけども、今回の8%に上がったものの取り扱いについては、一部を除いて転嫁していない状況になっています。半年遅れになりますけれども、定型なもの、例えば地下鉄の料金は値上がりしておりません。これについては、今度は10%に上がるタイミングがございまして、そういう段階でまとめてということをして今後検討していくとなろうと思っております。

まさしく、原価が上がっていますので、私どもの入園料もそれに伴って上げなければならないものもあるのですけれども、一方で、動物園は公の施設です。子どもたちは無料で

すけれども、なかなか転嫁しづらい部分がありますので、その辺は次回の再値上げのときを目掛けて全庁的に判断していくことになろうかと思っております。

○河原委員 私としては、上がらないほうがうれしいのですが、今このような質問をするのもどうかと思いましたが、お聞きしました。ありがとうございました。

○成田委員 動物自体を買うための予算には入っていないのですか。

○事務局（柴田飼育展示課長） 経営費の全体の中に動物を準備するための予算立てをしております。ただ、細かいところまでは入っておりません。

○成田委員 では、ここには載っていないのですね。

○事務局（柴田飼育展示課長） 項目出ししていませんけれども、3番目の中に含まれています。

○成田委員 象は導入されることは決まっていますか。

○事務局（柴田飼育展示課長） 象は、今年度に導入するかしないかを決めます。

○事務局（田中円山動物園長） 大型動物導入検討調査費の500万円が昨年と今年に計上されておりますけれども、今の段階では検討している段階でして、いろいろな調査の委託料を500万円の中で見させていただいております。

実際に買うことになるのかどうか、本当に導入するための具体的な費用、あるいは、象舎など、動物を展示するための施設も必要になりますので、そういったものについては必要な年度に予算を別途計上します。

○成田委員 では、今年度はまだ導入されていないのですね。

○事務局（田中円山動物園長） まだ調査の段階です。

○金子議長 この大型動物導入検討調査費は、まさに象だけというか、象のための調査費ですか。

○成田委員 アジアゾーンと先ほどおっしゃっていましたが、そうなのですよ。

○事務局（田中円山動物園長） アジアゾーンは既にでき上がっていますから、もし導入するとすれば、それとはまた別に施設を用意しなければならないと考えています。

○成田委員 では、アジアゾーンではなく、象のためにつくるのですか。

○事務局（田中円山動物園長） そうなろうかと思っております。その辺も含めて、調査をさせていただきます。

○牧野委員 結果的には何億円となってしまうわけですね。

○事務局（田中円山動物園長） アンケートを以前にとらせていただいたのですが、象舎だけで20億円です。その当時の簡単な積算ですが、一応出しました。そのデータをお示ししながら市民アンケートをとらせていただいて、半分近くの方からはそれでも導入したらいいのではないかというお答えをいただいているところですので、その方向で調査をしています。そこで、今年度のなるべく早い時期に導入するかの可否を決定する予定で準備を進めているところでございます。

○牧野委員 一般の人は、そこまでなかなかわかっていないですよ。とりあえず象が欲

しいのだ、動物園に象がいないのはどうかという気持ちがほとんどだと思うのです。しかし、内情を考えれば、買って、象舎を建てるだけで済むわけではなく、年間にいくらというお金も相当かかるわけです。とりあえず、50%ぐらいの支持率があるということですが、今後どういうふうに移して行くのかは大きな問題ですね。

○矢橋委員 一時期、青年会議所が一緒になって進めようとしていましたけれども、費用を負担するから協力しますというわけではないのですか。

○牧野委員 あれは買うのではなく、借りるという話でしたね。

○高山委員 象は買ったらどのくらいするのですか。

○事務局（田中円山動物園長） 売買の対象にはなっていないので、そういう意味では、金額はつけられないのが正解です。

○成田委員 では、どこから借りてくるのですか。

○事務局（田中円山動物園長） 例えば、どこかの国にお願いしようとかになります。

○成田委員 国内ではなくて、国外になるのですか。

○事務局（田中円山動物園長） 象は国内では高齢化しておりますので、なかなか難しいのです。ですから、どの国からどのような方法で導入するかという調査をまさしく今、行っている段階です。

○小山委員 確か複数で、しかも繁殖目的がないとだめなのです。単に展示目的だと貸してくれないのです。

○牧野委員 繁殖させるためには、やっぱり多頭数が必要になってくるから、相当な金額になるのです。

○成田委員 象だから、移送するのにも、すごい金額がかかりますね。

○事務局（田中円山動物園長） 今、熱帯動物館のところに象の跡地がありますけれども、ああいうところにぽんと1頭置くという展示はもうできないので、桁違いの施設になるのかということで、20億円となります。

○小山委員 最低2匹でも成り立つのですか。

○事務局（田中円山動物園長） 成り立たないようです。

○小山委員 群れとして管理しなければいけないということですね。

○事務局（田中円山動物園長） 雄と雌のつがいでは、妊娠、出産まで至らないのですね。

○事務局（柴田飼育展示課長） 望ましいのは、雌が複数ですね。

○成田委員 もう一つあります。

壁面アート事業では、ワークショップで似顔絵をつくったのは、いつだか、黒田さんがやられたもので、もうある作品ということですね。では、改めてこれから何かをつくるのではなく、全部を準備されているのですね。

○事務局（田中円山動物園長） 今年に入って、二度ほどワークショップをさせていただいて、40人の方にそれぞれ似顔絵を描いていただいたものができ上がっていますので、それをフィルム化して貼り付けます。

○成田委員 黒田さんはオープニングの日は、いらっしゃるのですか。

○事務局（池田調整担当係長） 今、その準備も進めております。

○金子議長 ほかによろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子議長 それでは、平成26年度の主な行事に移りたいと思います。

こちらはいかがでしょうか。

○成田委員 草食デー、肉食デーのポスターは、札幌国際芸術祭のポスターの雰囲気のパロっている感じですがけれども、あれは芸術祭の本体に何かをやったわけではなくて、円山動物園で勝手にパロった感じですか。

○事務局（池田調整担当係長） そうです。

芸術祭のプロモーションについて、僕たちとして、どういうことができるかなと考えました。ある種、パロディーみたいな形での広告の仕方で芸術祭に協力したいなという思いから、やらせていただきました。

○成田委員 私の周りではすごく好評です。すごくおもしろいことをやり出したと思いました。

○牧野委員 平成26年度の目標は100万人ですので、いろいろな企画もこのように提案されておりますね。前にも一度確認したのですが、駐車場の問題です。新聞によると、球場のところは何百台かをとめられるということですが、あれはこの冬にスタートということですね。

現実に、こういうものは天候にもものすごく左右されるわけです。先ほども局長からお話があったとおり、6月の長雨の影響もかなりあったというようなことで、中でできるイベント的なものをやっぱりもっとやるべきことも多いと思うのです。

それと同時に、何回も言うとおりに、車社会でして、車で来られる方が相当いると思うのです。この間の5月の車の並び方を見たら、お父さんは待っているだけで疲れてしまうような状況ですね。

ですから、今回、秋を目指してそういう新しい駐車場ができると聞きましたが、我々の町内会では、ああいうところで交通渋滞をかなり招いている部分があるので、そういう部分でも多少なりとも助かるのかなという部分があります。なにぶんにも100万人が目標ということであれば、動員するために車社会の問題をどうやってクリアしていくかが大きなポイントだと思うのです。

10分や15分の待ち時間なら何とも感じないでしょうけれども、1時間も待たされてはだめだと思います。盤溪のほうでもやられているようですけれども、車に乗っている人間はそうだと思いますが、あそこまで行ってまたバスに乗ってくるのは面倒くさがるというようなことが往々にしてあるのです。ですから、100万人の動員を目標とする中では一番大事な部分かと思います。地下鉄利用もバス利用もそこまでなかなか伸びていない部分があるかと思うので、そのところは今後も考えていただきたいと思います。

この前の町内会の集まりでは、入場の段階での徴収は後払いにしてはどうかという話が出たのです。とにかく入れるだけ入れれば、台車的には呼べるわけです。出るときはランダムに出てこられるわけだから、絶対に交通渋滞や減り、待ち時間の部分も短縮できるのではないかなと前々からお話ししておりますけれども、機械を買うとか、カード券をばっとなんて入れるようなものができれば、相当違うのではないかと感じています。

○事務局（田中円山動物園長）　ありがとうございます。

おっしゃるとおりでして、駐車場については、あまり技術的なことを言うとおれですけども、まず、今年は盤溪に誘導することが比較的成功したのかなというような感じでございます。去年よりもゴールデンウィーク期間中にお客様が増えた割には車列はそれに比例して多くなかったのではないかなということが1点です。

それから、入るときに徴収する方法はどうかということです。下手すると、満車にならないのにえらい車列ができていますので、その辺をぜひ改善していきたいと思っております。

○牧野委員　冬場はスキーの関係で盤溪が使えなくなりますよね。冬場の待ち時間が長いことにはかなり抵抗があると思いますが、秋に向けて新しく何百台か入れるようにするというのを聞いておりますから、その効果が多少あればなと思います。

○事務局（木村経営管理課長）　新しく100台増やす予定ですが、工事の関係で、今年度に稼働するのは無理だろうと思います。何とか来年の連休にはということですので、まだしばらくは現状の台数で、2カ所で大体830台ほどで頑張らなければいけないと思っています。

牧野委員からお話をいただいている先払いの件も、今、指定管理者にもあわせて検討してもらってはいるのですけれども、機械の関係その他があって、すぐには難しいということでした。

ただ、實際上、満車になる前に車列ができる状況はこの連休にもありましたので、ご迷惑ができるだけかからないような誘導について、管理者と一緒に検討させていただきたいと思っております。将来的には会長がおっしゃられているような先払い制や時間制については検討していくべきものだと思っております。中期的な話と短期的な話の両方で進めなければいけないとは思っております。

○牧野委員　時間で払うわけではなく、1台幾らで入っているわけだから、後払いという方法はそんなに難しい話ではないと思うのです。

○金子議長　駐車場の問題は、いろいろと解決すべきものがありますので、ぜひよろしくお願いたします。

○高井副議長　イベントについてですが、アジアゾーンを建てた後のフォローと申しますか、新しい施設を見て一巡した後の対策と申しますか、新鮮味を与えるようなものは何か考えていらっしゃいますか。

例えば、は虫類館については、去年、スネークアートのような形でフォローアップをし

て、また施設のすばらしさをソフト的なイベントによって補強するという、すごくよい試みだったと思うのですけれども、そうしたことは何かないかということが一つです。

もう一つは、アフリカゾーンはこれから準備するというので、「アフリカの文化の日」も前もって6月に広報をおやりになっているみたいで、これには大賛成ですが、こうした少しずつ盛り上げていくようなことは、「アフリカの文化の日」以外に何か考えていらっしゃるのですか。

○事務局（木村経営管理課長） まず、アジアゾーンの関係です。

オープンしてから、例えば1周年記念などのような目立ったものは弱い面があるかもしれないのですが、例えばレッサーパンダの外の放飼場に吊り橋を設けることを今年の連休を目掛けて本格的に行っています。このように、1年ちょっとが経ちまして、新たな展示の工夫を進めているところですが、そういうようなものには改めて取り組んでいきたいと思っております。

○事務局（池田調整担当係長） アジアゾーンに関して、今年は壁面アート展ということで、ラッピングバスのデザインを募集したのですけれども、アジアとアフリカの動物についてデザインを募集いたしました。ちょうど、そのようなすばらしいデザインが応募されてきましたので、それをバスに掲出して、路線バスでPRいたします。

また、昨年12月にアジアゾーンの1周年記念事業として、特別なお食事プレゼントをやらせていただきました。残念ながら、悪天候で、そのときはお客様があまりいらっしゃらなかったのですけれども、そういう取り組みをこれからも続けていきます。

また、「アフリカの文化を知る日」を先だってやらせていただきました。これはコートジボワール出身の外国語教員の方にお越しいただいて、アフリカでの人々の暮らしや動物のかかわりを教えていただきました。こういった事業を継続して、これからも秋に向けて、また、冬に向けて展開していく予定でございます。

○矢橋委員 先ほどの駐車場の話です。

円山球場が今日は既に満車になっていましたけれども、あれは動物園と関係しているのですか。

○事務局（木村経営管理課長） 正確に言うと、動物園の駐車場はなくて、円山公園の駐車場なのです。便宜上と言ったら怒られるのですが、市の組織上、円山公園駐車場を管理しているのが円山動物園なのです。それは、事務所なり何なりが近いということやその他にもいろいろな理由がございます。

ただ、動物園のお客さんだけの駐車場ではなく、今おっしゃられたように、野球の観戦の方、あるいは、時期によれば公園で花見をする方が使う駐車場となっています。そういう面では、ほかに公園の駐車場がないことと動物園専用の駐車場がないことが解決を難しくしている一つの要因なのかと思っています。

○矢橋委員 今日みたいに予選が始まって、動物園にお客さんが来る日がかぶったら相当大変な状態だということをおっしゃられていたのですね。

そこまで人が来るのだったら、円山球場とタイアップして、球場から動物園に来てもらうという動線ができないものなのか、もったいないということが一つあります。野球観戦に来ているから、動物は別に見たくないと言われれば仕方がないのですけれども、何かがあればいいなと思った次第です。

○事務局（池田調整担当係長） 昨年7月から8月31日にかけて、3月には学生は無料というPRをさせていただいたところ、1万人近くの学生がいらっしやいました。普段は1年間で1万5,000人しかいらっしやらない学生たちが3月に一挙に1万人いらっしやったという経過がありました。

ただ、そのときは無料だったものですから、その後につながる何かがありませんでした。そこで、今回は年間パスポートを学割として半額で2カ月間提供し、1,000円するものを500円にしました。これは一般入園料に比べて100円低い金額に設定させていただき、これから学生たちに一斉にPRをかけていきます。そういったポスターを球場に貼らせていただくことで、高校野球の方や大学野球の方がより来やすくなるようにしていきたいと思っております。

○矢橋委員 先ほどにちらっと出たコートジボワールです。私はサッカーがよくわかりませんが、この間、日本はコートジボワールと試合をやったのでしたか。引き分けはギリシャでしたか。コートジボワールのそういうイベントがあるのだったら、ワールドカップに絡めてサッカー好きが来るというものもあればと思いました。

○事務局（田中円山動物園長） コートジボワールには、たまたま勝てなかったということです。ただ、予選の日ではありませんでした。

○金子議長 高校生は有料でしたね。高校野球があるときに年間パスポートの出店を開くなど、そういうパスポートを売りに行くことは、今まであまりやられていないのですか。

○事務局（木村経営管理課長） ないですね。

○金子議長 郵便局が記念切手を駅で売っていますが、ああいうことをやると、特にキャンペーンのときは結構買うのではないですか。宣伝にもなりますし、特に高校野球だったら若い人たちもいっぱい来ているでしょう。

○矢橋委員 以前ここで見せていただいた空撮のプロモーション動画がありましたね。ANAかJALのCAが料理をしてくれるようなものがありました。あれは相変わらず園内、あるいは、サイトでしか見られないのですか。著作権の関係で制限がありましたね。

○事務局（池田調整担当係長） 動画の権利を持っているのがANAです。

○矢橋委員 前回に言った記憶があるのですが、ああいうものは若い人が見たら絶対食いつくはずだと思います。あれをとっておくのはもったいないです。もっと見せられればいいのですけれども、見られないというジレンマがあれば、動物園の敷地ぎりぎりの玄関のところでスクリーンに映し出して、円山球場から見えるようにしたら、おもしろそうだと新しいお客さんが来ます。

○金子議長 多分、お客さんが来てもらうためにいろいろなアイデアがあると思うので、

こういう市民動物園会議として、別なときにご飯でも食べながらアイデア出しみたいなものがあればいいですね。有志の方々に少し集まってできれば、おもしろいかなと思います。

本当に思いつきで、すみません。

○牧野委員 まるっばは、子どもたちに結構人気がありますね。私の孫も動物を見ているよりもあそこで遊んでいて帰られないということのほうが多いみたいです。しかし、冬場は休みになってしまいますね。あそこは冬場にそり遊びが簡単にできるようにしたり、ちょっとしたジャングルジムのものや雪山をつくって遊べるようにすることを考えられませんか。

今はあのままで、何かが建つことはないですね。そうしたら、年間を通して、冬場も遊べるような場所をつくるのです。冬場にはそりを持って園内に入ってくる方が結構いらっしゃると思うので、その辺のところもアピールして、動物を見た帰りに、まるっばで遊べるようなことも考えていただければと思います。

○金子議長 僕が気になったことでは、行事の黒丸印がついているのは、非常に素晴らしい行事だと思うのですが、冬は去年並みで、特に新しいものがないのです。しかし、今お話があったように、冬に集客をするようなイベントとしてもう少し新しいものがあったもいいのかという気がいたしました。

○事務局（池田調整担当係長） 後半のイベントについては、これからです。

○金子議長 そうしたら、ここに書かれていないものがいくつか入ってくるのですね。ほかによろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子議長 ありがとうございます。

続きまして、ゴールデンウィークの来園者数について、よろしく願いいたします。

○事務局（木村経営管理課長） それでは、今年ゴールデンウィークの関係のお話でございます。

めくっていただきまして、資料3-1のゴールデンウィーク期間中の来園者数の表で、道内の他園との比較をご用意させていただいております。

私どもでは、ゴールデンウィークにあわせて、春まつりというイベントを例年行っておりますけれども、そのときの来園者数をカウントして比較しております。今年は4月26日から5月6日で、昨年は4月27日から5月6日で、今年は日数が1日多くなっておりまして、それを踏まえてごらんいただければと思います。

今年は、天候に恵まれたこともございまして、先ほども申し上げましたように、去年と比べて1日多い状況ではございますけれども、まれに見る悪天候でした昨年と比べまして90%以上の多くのお客様に来ていただきました。

参考までに、各園の来園者数も載せておりますけれども、いずれも昨年よりも来園者数が大きく伸びておりますけれども、その中でも円山動物園は特に伸びております。旭山動物園と比較いたしますと、昨年は来園者数が30%以上、下回っていたところですが

も、今年は14%まで差を縮めました。

めくっていただきまして、資料3-2という期間中のイベントの状況をごらんいただきたいと思います。

キャラクターショー、その他、例年行っております内容を中心に実施しておりますけれども、新たなスポンサーの関係やその他もありまして、さまざまな取り組みをいたしました。

それから、先ほど駐車場の関係が出ましたけれども、5月3日から6日までの連休の後半4日間につきましては、今年度もばんけいスキー場と連携いたしまして、スキー場の駐車場を臨時駐車場として開放していただいているところでございます。今年は、通常の公園の駐車場と比べて料金を200円安く設定したこともあって、特に4日は来園者が久しぶりに2万人を超えたのですが、800台以上の車が、ばんけいスキー場の駐車場を利用しておりました。

4日につきましては、通行規制をかけて南1条から上がってこられなくして、代りに北1条通を回すのですが、これがなければ、北1条通から環状通までずっと延びたであろう車列がそこまではいきませんでした。それでも、結局、神宮のほうまで行きましたので、近隣の方にはかなりご迷惑をおかけしたと思うのですが、それなりの効果はあったと考えております。

このように、ゴールデンウィークは大変盛況でございましたけれども、はじめに局長からお話もございましたように、その後の来園者数については若干苦戦しております。

4月1日から6月29日までの今年度の来園者数は、27万2,832人です。昨年の同期は30万8,630人でしたので、率にして11.6%少ない状況でございます。

先ほど来、いろいろとアドバイス等もいただいているところでございますけれども、このマイナスを取り戻すべく、園としても改めて集客に向けた新たな取り組みを進めなければいけないと考えておりますので、委員の皆さまにおかれましても、動物園に関する情報の発信など、積極的に応援いただければと思っております。

ゴールデンウィークの来園者数についての説明につきまして、4月からこれまでの来園者の状況とあわせてご説明をさせていただきました。

○金子議長 ありがとうございます。

それでは、ゴールデンウィークの来園者について何かございますでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○金子議長 ありがとうございます。

それでは、次へ移りたいと思います。

基本計画の進捗状況について、よろしくお願いたします。

○事務局(田中円山動物園長) 園長の田中でございます。

私から、基本計画の進捗状況についてご説明いたします。

A3判横の基本計画改定版概要をごらんください。

こちらは、平成23年度末に24年度に向けて新たな後期計画をつくるときの資料でございます。委員の皆さんの中にはごらんになっている方が多いかと思えますし、重複になるかもしれませんけれども、ご説明いたします。

基本構想を基に基本計画をつくり、平成19年度から23年までの5カ年を前期、24年から28年までを後期と位置づけて、今はまさしく後期の計画に取り組んでいるところでございます。平成23年度の段階では、79項目中65項目が順調に進捗しておりますが、平成28年までに全てを達成しようと取り組んでおります。

この中で、下の円山動物園の存在意義を高める事業、あるいは、特徴づけ際立たせる事業、集客施設としての実力を高める事業と三つのくくりで分けられておりますが、それぞれ新たな挑戦ということで、そこに記載のようなことに取り組んでおります。

この中で、具体的に平成26年度にどのような取り組みをするかが次のページになっております。さまざまな指標を達成するため、右側の半分の表頭に26年度の主な事業計画内容と記載がありますとおり、そこに書いてあるものが新規やレベルアップと括弧書きになっておりますけれども、こういった事業に取り組んでいるところでございます。

例えば、今まで出てきたものでは、指標項目の1から9までありますけれども、3に新規として芸術祭との連携があります。一つ飛んで、レベルアップで、SAPICA提示による抽選会など、公共交通機関の利用促進などに取り組んでおります。

また、そのすぐ下の欄のアニマルファミリー制度、あるいは、寄附制度につきましては最後の項目で詳しくご説明いたしますけれども、新規といたしまして、新寄附支援制度の創設を今年度にやろうとしております。

それから、二つ下がりますして、6の新規のラッピングバスを活用したシャトル運行についての検討とあります。ラッピングバスにつきましては、春先にシロクマのラッピングの車が既に2台運行しています。それから、先ほどお話しした芸術祭との連携で、さらに1台追加する予定でございます。これを公共交通機関の利用促進として、地下鉄の円山公園駅からシャトル運行などができないかというようなことでございます。

また、二つほど下がりますして、先ほどLEDのお話が出ていましたけれども、レベルアップといたしまして、予算には限りがありますけれども、LED照明への切り替えなども行っております。

一番下の9の施設整備と動物管理については欄が多くなっています。

まず、大型動物ということで、象の導入に関する可否の決定でございます。これを年度の早い時期に行う予定です。それから、サル山を改修することも計画しております。あるいは最近いろいろと苦言をいただいておりますけれども、第1駐車場の効率的な運用方法です。また、アフリカゾーンの建物の改修、建設を続けるとともに、そこには先ほどの壁面アートを展開する予定でございます。そして、ホッキョクグマとアザラシの新しい施設を予定しています。また、今、既に工事中ですが、モンキーハウスを改修しているところでございます。

これらの取り組みをいたしまして、それぞれの計画について、平成28年度の目標に向かったの計画値を持っているところでございます。

特に、入園者数につきましては、100万人を目標としてございますが、最近では厳しいところであります。しかし、これからさまざまなイベント等、工夫を凝らしまして達成に向けて努力してまいりたいと思っております。

進捗状況については、以上でございます。

○金子議長 ありがとうございます。

それでは、基本計画の進捗状況について、ご審議いただければと思います。

○高井副議長 最後の9の施設整備と動物管理ではアンケート未実施となっていますね。この後、進捗を図るためには何らかの指標をとらないといけないと思うのですが、大体いつぐらいに予定されていらっしゃるのかを伺いたいと思います。

○事務局（木村経営管理課長） 動物園の基本計画に挙げている施設整備は、アフリカゾーンの竣工で一段落つくので、その段階でのアンケートを予定していたのですが、それまで状況の確認が全くできないもおかしな話でございますので、今年度、モンキーハウスの改修等が終わる予定でございますので、その段階で来園者にアンケートをとって、結果をご報告させていただきたいと思っております。そして、その後でサル山とアフリカゾーンができますので、その結果と比べられるようにしたいと考えております。

○小山委員 アフリカゾーンができれば、今までの熱帯動物館がほとんどなくなるのですね。後利用は、どういうふうになっていますか。

○事務局（木村経営管理課長） あの施設は老朽化が激しいので、解体を予定しております。解体した後はどうするかは、まさに大型動物の導入の関係もあって、今後検討いたしますけれども、アフリカゾーンができましたら、中の動物は移りますので、その後に建物は解体いたします。

○小山委員 正門から入ってすぐですから、立地的には非常に重要なスペースになりますね。

また、象の問題と必ず裏表になっているから、象が解決しないと、そこは動かないということですか。

○事務局（田中円山動物園長） とりあえず、アフリカゾーンが来年の夏にはオープンすると動物は動いてしまうので、更地になるのは間違いありません。そこで、跡地の利用として、先ほど申し上げている象の導入については今年度の早い時期に可否を決定することになっていきますので、もし導入すると決定すれば、場所としてはあそこしかないという感じでしょうか。

○成田委員 ちょっと気になったのは、8の夜の動物園のシニア層の来園意欲を喚起するための昭和回帰型イベントは、どんな感じで考えられているのですか。

○事務局（池田調整担当係長） たまたまとある会社様の企画で、駄菓子屋、純喫茶、劇場などの車両でのセットがあるのです。撮影で使うセットみたいなものがあって、その雰

囲気を動物園のレストハウスの海獣舎側に持ち込んで、そこで駄菓子屋の展開をしたいと考えております。

あるいは、子どもたちの夏の自由研究向けに子ども新聞づくりという企画があるのですが、おじいちゃんやおばあちゃんの昔撮った写真と今撮った写真をつけて新聞をつくるというイベントです。また、コンピューターゲームですけれども、ボウリングができるゲームがありまして、おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に参加したらプレゼントをするというものがあります。

また、古い時代の電話機やテレビ機器など、そういったものと今のものを対比して展示するなど、こういうものを7月26日から8月10日まで実施しております。

○高井副議長 今回ということではなく、今後のためということです。

先ほどの8のソフト事業なども非常に魅力的だと思うのですが、指標としてアンケートがいいのか、です。98%までいって、頭打ちになった状態で、新しい事業をやるときに、その根拠になるような数値を本来は今のうちに用意しておくとか次期計画のときに新しい指標を立てられると思うのです。

例えば、動員数などを今から計っていくと、例えば何人動員して、いくら増えたから、先ほどの予算のところイベント事業などに300万円増額して、反映して、実際にどのくらい動員できましたとしていくと、指標と予算や決算の裏づけが対応してくるのかなというように一つです。

同様に、この9の施設についてです。

今はアンケートをしていないから、高い数値が出てくると、そこでいいと思うのですが、今後も98%のままどまっているのだったら、新しい施設はいらんのではないかという話になっていくような気がするのです。ですから、もう一つ別の指標を今から取り始めるのです。例えば、何かの施設をつくったら滞在時間が伸びた、あるいは、改修したらルートが変わったなどです。

今回はこれで始めていますので、これでいくしかないと思うのですが、今後のことも含めて、そういう別の指標を準備しておくといいのかなと思った次第です。

○事務局（田中円山動物園長） イベントの動員などが、なかなか難しいのは、いくら魅力的なイベントをやっても、雨が降ると、ということがあるのです。もちろん効果をはからなければいけないのは重々承知しておりますが、今申し上げたような要素があまりにも大きくて、なかなかはかりづらいのが正直なところですが、でも、そうは言いながら、何がしかの検討はさせていただきたいと思っております。

○高井副議長 悪天候指数みたいなものでマイナス30%みたいなものなど、気温と天候で仮につくってやるのです。多分、小売業なんかはそうやっているのではないですか。指数化して計算していると思っております。

○事務局（木村経営管理課長） 最後の滞在時間やルートというアドバイスがございましたけれども、まさにアジアゾーンができて、人の流れが大分変わったのが実感としてあり

ます。今後、アフリカゾーンができて、人の流れが変わってくるでしょうし、滞在時間も昔と比べて長くなったということが実感としてあると現場の職員からも聞いておりますので、副委員長のお話を参考にして、よりよいものに直していきたいなと思っております。

○成田委員 ちょっと気になったことがあります。

入場者数は100万人を目標ということでしたね。これは個人的な意見になると思いますがすけれども、私は動物園が大好きで来ているのですけれども、100万人が来て、ゆっくり見られなくなる状況になると離れてしまう人がいるのです。実際に旭山動物園も好きで何回か行っているのですけれども、ゆっくり見られないので、もうあまり好きではないのです。

例えば、トイレや食事がとれるところ、休憩できるところ、もちろん先ほど言っていた駐車場の件もそうですけれども、そういうものがきちんとあっての100万人が理想だと思います。

今はトイレを待ったことはありません。人がいないときを狙っているので、私が来るのはいつも午前中なのです。ただ、夜の動物園はすごく混んでいると聞いているので、そういうときには、それだけで疲れるから行きたくない、とはならないようにしてほしいと思います。

新しい施設をつくられるのでしたら、トイレを多めにする検討をよろしくお願ひしたいなと思っています。

○事務局（田中円山動物園長） 5月4日でしたか、1日で2万人以上のお客様に来ていただいて、まさしく駐車場は長蛇の列したし、食堂や売店も長蛇の列になってしまっていて、ご不満を持たれたお客様が多かったと我々も認識しています。ただ、難しく、準備しても雨が降るといこともいろいろあります。

○成田委員 食事できるところは、マックスのときのために営業し続けるわけにはいかないと思います。例えば、食事のことだったら、イベントのときには販売の車であちこち行っている人がいると思うので、そういう人たちを呼んで、出店で出してもらおうのです。ただ、どこで食べるのだという場所が問題に残りますけれども、そういうものがあるかと思っています。

○事務局（田中円山動物園長） 一朝一夕には解決できないような問題かと思いますがけれども、その辺は、まさしくお客様に満足していただけるような方向でいろいろなものを考えていきたいと思っています。ありがとうございます。

○河原委員 話がそれで申しわけないのですけれども、今、旭山動物園というお声が聞こえたので、ずっと前から気になっていたことがあります。

旭山動物園はキャラクターがだめだと新聞で見たことがあるのですけれども、円山動物園は先ほどキャラクターという文字が見えていたので、あまりそういうものにこだわっていない動物園なののでしょうか。今はどうなっているかわかりませんが、旭山動物園ではキャラクターの入園がだめですね。円山動物園は大丈夫ですか。マルヤマンも園内に

いますね。だから、あまりこだわらないのですか。

○事務局（池田調整担当係長） 旭山動物園の事情は聞いております。円山動物園は既にマルヤマンというキャラクターが至るところに出没しています。ただ、動物がいるところにああいう着ぐるみがいると動物がびっくりするので控えるようにしています。正門や西門や動物がいないところなど、お客様が滞留できる場所にはいます。

○河原委員 そのような配慮をされていたのですね。どうして動物園なのにこうも違うのだろうと思ったのですが、わかりました。

○事務局（田中円山動物園長） それこそ、テレビ父さんにも出張をいただいております。

○金子議長 ありがとうございます。

それでは、次に行ってよろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子議長 新着動物等について、お願いいたします。

○事務局（柴田飼育展示課長） 資料5の主な新着、出産の状況をかいつまんでご説明します。

5月に道産子動物のエゾユキウサギが今年も繁殖しております。

6月には虫類館のアオホソオトカゲが昨年に続きまして繁殖をしております。予定では、日本動物園水族館協会加盟の動物園の中では、昨年度の繁殖ははじめてということで、繁殖賞をいただく予定になっております。

6月に入りまして、エゾモモンガも繁殖してくれています。夜行性の動物ですので、夜の動物園では、よくごらんいただけたと思います。

6月にスローロリスが1頭繁殖しておりますが、今は様子を見るために公開を中止しております。

次に、主な転出動物でございます。

3月2日にホッキョクグマの双子をほかの動物園に移動し、2年間の預託を予定しております。

3月31日は、エゾヒグマの栄子は41歳ということで、国内最高齢まで生きてくれています。たくさんの子どもを出産しました。老齢で脊椎の疾患ということで、ずっと入院しておりましたけれども、最後は安楽死をしております。

4月に入りまして、リスザルが1頭死亡しておりました。結果として、エキノコックス症に感染していることがわかりました。全頭検査をしまして、30頭中2頭が同じようにかかっていることがわかりましたけれども、今、投薬治療を開始しております。原因となるキツネのフンを足につけて中に持ち込まないように、足場の水回りの改修を実施したところでございます。

主なものは、以上でございます。

○金子議長 ありがとうございます。

これにつきまして、何かございますでしょうか。

○牧野委員 キツネはよその森にもいますね。動物園から行ったり来たりしているものを何回か見ているのですけれども、園内に入り込む可能性はあるのですか。

○事務局（柴田飼育展示課長） 特に冬場は、雪かきで増してしまったところからフェンスがちょっとでも低いところを狙ってということはありません、春までいることはあります

○金子議長 エキノコックス対策では、エキノコックスの専門の北大の神谷先生が私のいる大学に今も特任教授でいらしております。それで、大学の周りはとにかく浄化しようという話で、駆虫剤を全部にまきました。きれいな体のキツネがいれば、そういうものにかかったものが入ってこないということで、毎年、大学の周りに駆虫剤をまいてもらっているのです。

○事務局（柴田飼育展示課長） 私どもも11月から北海道立衛生研究所の指導を受けて、その方式をとりはじめまして、フェンスの内側に駆虫薬入りの餌を月に1回まいて、清浄化できれば一番いいということで進めております。

○金子議長 その対策はいろいろとられているのですね。

○事務局（柴田飼育展示課長） 一番いいのは、できるだけ入らないようにということで、フェンスの強化も予定しております。

○牧野委員 この辺はアライグマも出てきているし、タヌキも出てきているのです。今月の12日に我が家の庭にたまたまエゾシカも飛び込んできまして、木村課長に電話して、どう対応したらいいのだという話をしたら、被害がないのであれば、そのままそっとしておいてと言われました。結果的にはいなくなりました。いろいろな部分で自然には恵まれているのだけれども、さすがに熊があちこちで出ているので、逃げ回っているのか、その影響もあるのかと思っております。また、我々のところは、小学校も中学校もこの間は集団下校をしており、熊においては、今、騒いでおります。

いろいろな要素があるのでしょうけれども、昨日は藤野のところに親子熊が現れたという話も今朝の新聞で見ました。また、この間、孫がエゾシカを見たと言ったら、動物園から逃げてきたのではないかと言うので、そんなことはないという話をしていました。

話がまた別になりますけれども、100万人という目標に対して、特にシロクマの貢献度がものすごく大きかったですよね。しかし、今はなくなってしまったわけだから、それをフォローする部分は、かなりハードなパワーが必要ではないかと個人的に思っております。いろいろなイベントも含めて、その辺のところは、と思います。

また、今日は1時間ほど早く来て、森の中を久しぶりに私も見せてもらいましたけれども、私は1期生で森のボランティアを3年間させてもらい、今は6年目となります。私は3年ぐらい見てきていなかったのだと思って見せてもらいました。

今日の段階でのお話では、一般開放にはまだ至っておらず、土・日だけの限定となっているのですけれども、早い段階で一般開放になると、また違った意味での動物園の役割

がお客様に与えられるのではないかと思います。

正直、私は3年間やった中で、本当に毎週のように来られる方たちがいるのです。そうすると、我々が説明する以上の資料を持ってこられて、とてもではないけれども、説明はいりませんから、どうぞごゆっくり見てくださいと言ったこともあるのです。

このように、都会の真ん中にこんな手つかずの森がまだあることを知らない方がまだいっぱいいらっしゃると思いますし、ビオトープ的な要素も多分に含まれていると思いますので、なるべく早い時期に一般開放を考えてあわせていただければと思っております。

○金子議長 ありがとうございます。

それでは、よろしいでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○金子議長 続きまして、フェイスブックの運営について、お願いいたします。

○事務局(木村経営管理課長) 前回の会議は昨年前でございまして、その際にもフェイスブックの状況についてご説明をさせていただいておりますが、現状について改めてご説明を申し上げたいと思います。

資料6でございます。

先月の時点の資料で申しわけないのですが、去年の8月30日にフェイスブックを立ち上げて、9カ月経過した段階でございます。「いいね!」の件数が739件で、6月2日に改めて確認したところ、741件でございました。

地域別の内訳として、市内、道内、道外、その他を分けております。ご承知のように、円山動物園は来園者の割合としては、市内の来園者が圧倒的に多いのですけれども、フェイスブックの反応につきましては、道内、道外の方も結構いらっしゃる状況でございます。

それから、男女別、年齢別の状況はこちらに書いているとおりでございまして、20代、30代、40代と、年齢層としてはちょうど働き盛りの方が多くなっているようでございます。男女差については、標本の数自体もそれほど多くはないのですけれども、大きな違いはそれほど見られないのかと思っております。

間もなく開始して1年になりますので、一年の状況を改めて整理しまして、次回に議題として、またお出ししたいと考えております。

中間的な報告でございますけれども、フェイスブックの関係については、以上でございます。

○金子議長 ありがとうございます。

フェイスブックについては、何かありますでしょうか。

もう少し宣伝をして盛り上がるとういかなと思います。

これは、例えば、動物園のホームページにバーナーというか、市民動物園会議がフェイスブックをやっていますというようなことを書いてもらうことはできるのですか。

○事務局(池田調整担当係長) 市の広報課ともいろいろと協議は進めているところですが、市のホームページには市の管理する情報が原則であるようでして、どういう手

だてでそういうことが実現できるのかは、まさに協議中です。ただ、もっとやってもいいかと個人的には思っています。

○金子議長 いろいろな広報媒体を使って宣伝するような方向でやってもらったほうがいいかと思えます。

○事務局（池田調整担当係長） 私は、名刺にフェイスブックのアドレスをつけています。

○矢橋委員 「ようこそさっぽろ」がありますが、あれは広報がやっていらっしゃるサイトですか。

○事務局（池田調整担当係長） 「ようこそさっぽろ」は、観光です。

○事務局（田中円山動物園長） あれは外のサイトとして、公共でやっているものではなくて、実行委員会みたいなものです。市が直接やっているホームページにリンクするのは難しいところがあります。サイバー攻撃をされた例もあるので、活用するハードルが高くなっているのが事実です。

ただ、今おっしゃるように、いろいろな媒体を活用していくことも大事なことで、できることからやってまいりたいと思います。

○金子議長 ありがとうございます。

それでは、次の運営への支援方法についてお願いいたします。

○事務局（田中円山動物園長） 私から、資料7に基づいてご説明させていただきます。

最初の収支のご説明のときに寄附金の話が出ましたけれども、動物園の運営に餌代等として、あるいは、イベント協賛金としていただく寄附については、継続いたします。

個人でいただく場合には、2,000円の寄附金の基礎控除を除いた分が控除されます。計算方法によりますけれども、3万円寄附すると2万8,000円が戻ってくるみたいな計算があるそうでございまして、そういったものもどんどん説明したうえで、広めてまいりたいと思います。当然、企業の法人の皆さんについては、全額送金されております。

それから、アニマルファミリー制度につきましては、前回の会議のときに発展的に解消するというご相談を申し上げました。最後の会議を3月に開催することができなかったものですから、議長、副議長に個別にご相談を申し上げて、廃止する方向でアニマルファミリーの皆さんについては、平成26年度が最終年度ですというお知らせのもと、新しい今年度分の通知を発送しております。

これについては、今年度中に終了いたしまして、それを3の円山動物園アニマルサポーターという制度に転換していこうと思っております。

基本的な考え方は前回にご説明があったと思いますけれども、個別の個体に着目すると、その個体が死んだり、転出したりしたときに処理が困るという問題があります。また、そもそも加入者が頭打ちになっている状態がございましたので、これを発展的にするため、10月開始を目途にしていますけれども、アニマルサポーター制度の準備をしております。いただいた寄附につきましては、個体に着目せずに、一般的な運営費に広く充当するような方法を検討しているところでございます。また、サービスにつきましては、メールなど、

なるべくきめ細かい情報を差し上げることでサポーターになっていただく特典を感じていただけることを考えております。

ここには記載がないのですが、先ほど象の話が出ましたが、象の導入について市民アンケートをとったときに、費用負担があまりにも大きいため、導入に際しては、先ほど青年会議所の話も出ましたが、一定程度の寄附をもらって、それを充当すべきだというご意見を多くいただいております。今回導入を検討しておりますけれども、先ほど建物に20億円、導入費に何億円というのがあります。さらに、かなりの大量の餌を食べるので、ランニングコストもかなりの金額がかかることがわかっております。そこで、これらに充当すべく、運営の寄附ではなくて、施設整備の寄附を別途立ち上げようと内部で検討しております。

これは、象の導入をお諮りする段になったときには、こういう方法で市民の皆さんからのご寄附をいただいたうえで、象を導入したいと思いたいというようなことで方針を決定する予定でございますので、その際にご報告申し上げることになるかと思っております。

資料7については、以上でございます。

○金子議長 ありがとうございます。

それでは、動物園運営への支援方法についてご審議いただきたいと思っております。

いかがでしょうか。

○小山委員 アニマルサポーターは、寄附金控除の対象になるのですか。

○事務局（田中円山動物園長） 会費制ですので、これはなりません。

○小山委員 逆に、エンリッチメントに向けた指定寄附をすればいかがですか。

○事務局（田中円山動物園長） 1にあるような寄附でいただければ控除の対象になります。

○牧野委員 アニマルサポーターは、年会費はいくらか決まっているのですか。

○事務局（池田調整担当係長） 今、検討している中では、1口500円です。

○牧野委員 何口でもいいのですか。

○事務局（田中円山動物園長） 小さなお子様でも加入ができるような形です。

○金子議長 ほかにいかがでしょうか。

これは10月から始めるのですね。

○事務局（田中円山動物園長） 今、それを目途にいろいろと検討を重ねているところでございます。

○金子議長 よろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子議長 ありがとうございました。

それでは、今までのところでご意見やご要望等がございましたら、お願いいたします。よろしいですか。

（「なし」と発言する者あり）

○金子議長 それでは、最後にその他ということをお願いいたします。

○事務局（木村経営管理課長） 次回の会議は、9月に開催したいと思っております。

9月の初めですと、学校の関係でなかなか難しい部分があるかもしれませんが、9月のいずれかの日ということで、近々に委員の皆さまには日程のご照会をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。次回には、今の新しい制度についてのご説明も申し上げたいと考えております。どうぞよろしくをお願いいたします。

○河原委員 3月も5月も見送って、今月になりましたね。担当者の方は、いろいろと調整してくださって大変だなと思っているのですけれども、そこで見えてきたものがあると思うのです。

例えば、平日のほうが都合がいい人が多かったとか、土・日のほうが少なかったとか、また、時間も、どちらかというとな午前中のほうがいいのか、今開催している昼の時間帯のほうがいいのか、その辺はどのようになっているか、参考までに聞かせていただければ、希望を出すときになるべく考慮したいと思っております。そこで、お気づきになられていることがありましたら、をお願いいたします。

○事務局（田中円山動物園長） 基本的には平日の日中で、まずは、議長、副議長の日程を押さえる形で考えております。

○河原委員 日中ということは、お昼に近い今の時間帯がいいのですか。

○事務局（田中円山動物園長） 一般的にはこれぐらいの時間かと考えてございます。

○河原委員 土・日は少なかったのですか。

○事務局（田中円山動物園長） 皆さまもお休みかと思っております。

○河原委員 出すほうとしては、土・日・祝は動物園も忙しいのに大丈夫かなと思っていたのです。平日のお昼ぐらいの時間帯がやや多そうということですね。ありがとうございます。

○金子議長 それでは、お返しいたします。

5. 閉 会

○事務局（田中円山動物園長） 長時間にわたりまして熱心なご議論をありがとうございました。

今お話がありましたとおり、3月に開催できず、1回目が6月末になって大変申しわけございませんでした。皆様のご都合を伺いながら、なるべく早く日程調整をさせていただきたいと思っております。また、今日いただいたご意見も参考にさせていただきながら、次回もご意見をいただきたいと思いますので、ぜひよろしくをお願いいたします。

どうもありがとうございました。

以 上